

通告番号 1

## 一般質問発言通告要旨

通告者 5番 門脇晃幸

### 教員の働き方改革と部活動の地域移行について

#### 1 部活動の地域移行について

- (1) 現在、本市の部活動地域移行の実績と内容について伺う。
- (2) 学習指導要領（部活動は学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意する）としているが整合性について見解を伺う。
- (3) 現在の部活動は、学習指導要領に沿った活動（妥当か過熱化）となっているか。
- (4) 学校の適正化配置との関連性をどのように捉えているか伺う。
- (5) 学校の設置責任者である市長はどのような所見を持っているか伺う。

#### 2 教員の働き方改革について

- (1) 仙北市で独自の取り組み事例（過去も含む）があれば伺う。
- (2) 令和4年度、仙北市の教員の一ヶ月当たりの残業時間はどうなっているか。
- (3) 令和4年度、仙北市の教員の自宅への持ち帰り仕事時間についてはどうか。
- (4) 教員の人数は充分足りているか。
- (5) 部活動の地域移行による教員の残業時間の改善はどれだけの効果が期待できるか。  
(休日移行の場合・完全移行の場合)
- (6) 教員の働き方改革について市長の所見を伺う。

通告番号 2

## 一般質問発言通告要旨

通告者 1番 西宮三春

### 1 ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症ワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)について

- (1) 本市におけるHPVワクチン接種対象者へのこれまでの情報提供方法と接種者の推移について。
- (2) 未接種者の把握状況とキャッチアップ接種についての対応について。
- (3) 9価ワクチンの周知と接種対象者への対応について。
- (4) HPVワクチン接種後の副反応等について市内の発生状況について伺う。また、接種に対して不安を持っている市民への対応や接種後に副反応等の症状が生じた方へのサポート体制はあるか。
- (5) 男性へのHPVワクチン接種を進める考えは。
- (6) 小中学校への協力要請、医療機関との連携が必要と考えるが、今後の方針について。

### 2 女性のこころとからだをサポートする仙北市を目指して

- (1) 乳がん検診の検診率について伺う。
- (2) 無痛MRI乳がん検診の開始時期と予約方法、周知について。
- (3) 無痛MRI乳がん検診の助成は検討されているか。
- (4) 子宮がん検診の検診率について伺う。
- (5) 仙北市男女共同参画計画では、乳がん検診・子宮頸がん検診受診率がともに令和8年度目標値が30%となっているが、受診率を上げるために行っていること、新たに検討していることはあるか。
- (6) にかほ市が行っている不妊治療支援事業(女性のこころとからだのサポート事業)のように、不妊治療を受けている方だけでなく、月経前症候群PMSや生理不順で悩んでいる方へヘルスケアデバイスを貸し出しし、相談支援事業などを行っているが、本市でも女性が自身の体と向き合うきっかけを作ることで、乳がん検診、子宮がん検診の受診率にもつながるのではないか。
- (7) こまくさプランで配布されている生理用品について、夜用やサイズについて要望があれば検討すると答弁をいただいたが、要望はあったか。また、カードの提示のみで受け取れる大変ありがたい支援のため、市民が要望を伝えられる機会はあるのか。

### 3 安心して子育てができる環境を

- (1) 乳児、幼児の子を持つ保護者への救命講習実施の現状について。
- (2) 乳児健診時の救命講習の導入について。
- (3) 産前・産後の家事支援についての現状と、来年度以降の支援体制について伺う。
- (4) 西木庁舎1階にある市民休憩室の利用状況と今後の展開について検討されているか。
- (5) 市民休憩室開設にあたり、購入された遊具のうち、未だ休憩室に出されていないおもちゃがあると確認したが、いつ頃利用できるようになるのか。

#### 4 仙北市LINE公式アカウントについて

- (1) 開設以降、現在のLINEセグメント配信受信設定率と、1日の配信数について。
- (2) 今年度、受信設定率70%を目指すにあたり、具体的な対策は。
- (3) LINE公式アカウントのほかにも、Facebookや安心安全メールなどで情報を得ることができると、それぞれに発信目的に違いがあるとはいえ、市民の利用のしやすさや情報発信の統一などは検討されているか。

通告番号 3

## 一般質問発言通告要旨

通告者 2番 小田島 広仁

### 1 インターナショナルスクール誘致事業について

本事業については3年間の事業であり、誘致PR事業、市内遊休施設等調査、仙北市Maas事業企画・運営の3業務での構成となっていると理解している。各業務ともに委託候補者が決定し、進めていく方向であるが、以下について伺う。

- (1) 希望学校について、種類や規模等を定め事業を進めていくのか。その場合、どのような学校誘致を目指していくのか。
- (2) 設置場所について、地域を決めて事業を進めていくのか。
- (3) 誘致PR事業の委託候補事業者の特徴、3年間の事業費、具体的な事業の流れについて。
- (4) 遊休施設等調査の委託候補事業者の特徴、3年間の事業費、具体的な事業の流れについて。
- (5) Maas事業化・運営の委託候補事業者の特徴、3年間の事業費、具体的な事業の流れについて。

### 2 ふるさと納税について

令和4年度は職員を含め、皆さんの頑張りにより過去最高額を記録し、施政報告の中でも市長から「今年度は20億円を目指す！！」と力強い発言があった。そこで、改めてであるが、下記について伺う。

- (1) 令和4年度の納税額状況について。
- (2) 令和4年度の人気返礼品について。
- (3) 旅先納税の状況について。
- (4) 今年度の新たな取組等について。

### 3 観光部管轄事業等について

#### (1) 第36回田沢湖マラソンについて。

昨年度はコロナの影響で赤字状態になり、市が620万円増額し、1620万円の負担金で実施した経緯があるが、以下について伺う。

- ① 本年度大会において、予算、事業内容で大きく変わったことはあるのか。
- ② 既に募集を開始しているが、過去の同時期に比べ申し込み状況はどうなっているか。
- ③ ボランティアをされている方から話を聞いて欲しいという声が聞こえてくるが、本大会に関わっている方々からお話をきいてみたことがあるのか。また聞いている場合は、参考になるお話がなかったのか。

#### (2) 旧田沢湖町郷土史料館跡地の緑地化について

「令和元年度、周辺住民からの声も多く、緑地化を検討したが、市の財政では厳しかったことから、市が管理するということを条件に、田沢財産区が300万円の経費

負担をし、令和2年度に事業を実施した。」と聞いている。

5月2日開催の「財産区管理委員との地域課題の解決に関する懇談会」に出席した際、委員より「300万円も支出したのに、あの状態では問題がある。」との発言があり、GW後に現地を確認したところ、草が伸び放題、駐車場側からは入られないようロープが張っており、ベンチが2個あるが利用できる状況ではなく、問題があると感じた。

その後、担当課に相談したところ、早急に草刈りを実施することで、対応してもらった。その後、現場を確認したが、芝が前面に広がっている「芝生」という状況ではなく、土の部分もあり、前述のロープはそのままで、自由に利用してもらえる環境ではないと感じるが、以下について伺う。

- ① 当初の計画通りに進んでいる環境なのか。今後、もっと芝が広がり、土が見えている部分は無くなるのか。
  - ② 今後の活用方法について、どのように考えているのか。
  - ③ 管理については職員が草刈り等を実施し、管理しているのか。
- (3) 田沢湖地域冬季間閉鎖している公衆トイレについて。

当地は4月からミズバショウ、カタクリ、桜と「花紀行」ということで情報発信をしており、たくさんの観光客にお越しいただいている。特に今年は花の開花が早く、それに合わせてお客様の動きも早かった。

しかし、冬季閉鎖しているトイレが開いておらず、通年空いているトイレはあるものの、開いていないトイレを目にしたお客様から疑問の声も上がったと聞いている。

そこで以下について伺う。

- ① 現状、冬季閉鎖しているトイレを閉める時期、開ける時期はどうなっているか。
  - ② 開けているときの掃除等の管理はどのようにしているのか。また、閉める時、開ける時の対応は職員がしているのか。
  - ③ もっと早く開けることはできないのか。また、できない場合の理由は何か。
- (4) アルパこまくさについて。

令和4年第4回定例会で熊谷議員が「自然ふれあい温泉館の営業時間の見直しを！」ということで「アルパこまくさの営業時間」について一般質問をしており、その際に市長から「営業時間について私も最初聞いたときには、大変短いものだなというふうに正直率直な感想としてはそう思いました。妥当だとは思っておりません。」「市民、観光客の利便性を考えると、できる限り営業時間が長いほうが便利であり、アルパこまくさ温泉館単体で考えた場合、現在の営業時間は決して十分であるとは思いません。」「直営になったことによってサービスが低下した。また、営業時間が短くなつた。お役所仕事だというふうに言われてもおかしくない状況であります。」「まずは働く方がいらっしゃれば、営業時間を延ばすことは可能だと考えておりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思います。」という答弁があった。

その後の経過を担当課に確認したところ、営業時間は変わっていない。営業時間を延ばすためには雇用を増やすしかないが、追加で募集はしていない。との返答があった。この現状を踏まえて以下について伺う。

- ① 営業時間を延長する考えはあるのか。
- ② 延長の考えがあった場合、募集をしていないということは何故か。

## 一般質問発言通告要旨

通告者 3番 中村和彦

### 1 桜まつりの現状と今後、桜の未来について

- (1) 開催期間について、今後どのようにしていくのか。
- (2) 出店者の現状と今後の在り方についてどのように考えているのか。
- (3) 観光客分散化のために落合地区の魅力発信を強力に推進してはどうか。
- (4) 国指定の桜は、枝切りや、施肥を十分に行っているが、他の桜の管理はどのように行われているのか伺う。
- (5) 90年になる桧木内川堤の桜について、寿命60年と言われているが、管理が素晴らしい、今も、とても美しい花を咲かせているが、この先どうなるか心配である。具体的な対策等について伺う
- (6) 武家屋敷通りのしだれ桜は、伝承館のあたりに集中している。この先を見据えて、桜以外の樹木の間伐等を行い日当たり良好にして、新たに植栽が出来ないか伺う。

### 2 落合地区の玉川河川敷について

- (1) 公園のように見える場所だが、全く機能していない状況である。管理は誰がどのように行っているのか伺う。
- (2) ベンチやテーブルはあるが、そこへ行く導線も分からない状況で、テーブルの中まで草が生えており、とても、休憩場所とは言えない。桜の管理はある程度出来ているが、周りの環境が一か所でも悪いと、全体的に美観が損なわれるが今後の対策等について具体的に伺う。
- (3) 水を流す水路はあるが、水が流れてなく、無残な光景となっている。今は川で子供たちは、遊ぶことが出来ないが、取水すればきっと、喜ばれるし、体験学習の場にもなるし、親子の遊び場としての機能も果たせるとと思う。見解を伺う

### 3 横町橋について

- (1) 櫛干が、見るも無残な状態である。元々とても綺麗な赤色で景観的にも素晴らしい橋である。安全性、美観を考えれば早急な修繕が必要と考えるが見解を伺う。
- (2) 橋の架け替え等については、どのように考えているのか伺う。

通告番号 5

## 一般質問発言通告要旨

通告者 4番 澤田 雅亮

### 1 仙北市職員の残業について

仙北市役所は残業時間が長い。つまり、残業代による資金流出が多く発生している。数字を確認すると田口市政以前の平成21～令和3年までの平均で年間34,647時間、8,400万円程の残業代が毎年計上されている。ここ数年は、金額も減るどころかほぼ横ばいの数字である。財政調整基金が底を打つなど財政状況が悪化しているなかで、市政改善の最初は、働き方改革にあるのではないか。

原因は何なのか？国をあげて働き方改革が新しい資本主義の柱として掲げられているが、仙北市はなぜ機能しないのか。そこで、仙北市の働き方改革の改善及び計画の具体性等について伺う。特に、すでに発表されている【仙北市特定事業主行動計画】が機能しているのか？

- (1) 今後何年以内に年間の平均時間を何処まで減らし、残業代に支払われる歳出をいくらまで削減することを具体的に考えるか？
- (2) 仙北市役所の残業状態は平均すると特定の部、課が圧倒的なシェアを過去の平均から分析できるが人員配置の適正、働き方、専門知識、職員の育成をどのように考えるか？
- (3) 上記記載の残業等のデータから今の仙北市に必要なのは各部署ごとの残業に対するルールと考えるが仙北市の条例を確認すると、通称三六協定に沿ったルールの制定はあるが、部署ごとの残業時間の独自上限設定等どのように決めているか？

### 2 こども園における主食持参について

全国には様々な謎ルールが存在し、その中でも度々話題に上がるのが保育園3歳時より始まる主食持参股ルールである。NHK首都圏ナビのWEBリポートによると全国でも43%が家庭より主食を持参、39.6%が主食代を保護者から徴収し提供、自治体の補助が9.6%、その他～といった割合となっている。上記に対し秋田県として「県民の声」の中でこのような回答がされている。下記に抜粋する。

「国でも、令和元年5月に、子ども・子育て支援法の一部を改正し、同年10月から幼児教育・保育の無償化を実施しているところですが、3歳児から5歳児（2号認定者）に関しては、それまで保育料に含まれていた副食費が無償化の対象外となり、新たに徴収されることになりました。このことから、県では、子育て世帯の新たな負担を軽減するため、市町村の協力を得ながら、幼稚園や保育所等の施設を問わず、第1子からの副食費への独自の助成を行っているところです。一方、主食費については、無償化以前から保育料には含まれておらず、ごはんを持参していただくか、各ご家庭から集金して主食を提供するかは、保育所等の運営者がそれぞれの事情に応じて判断していることから、

まずは運営者や設置者である市町村、他の保護者の方々ともよく話し合っていただくことが大切ではないかと思っております。」これを踏まえ、独自に仙北市こども園にお子さんを預けている371世帯に対してアンケート調査を実施させて頂いたところ、251世帯から回答があった。

この主食持参についての質問を設定した。

Q 仙北市の保育園では年少（3歳）からご飯を持参ですがこれについてどう思いますか？

- ① 特に不憫はない
- ② 保育園で用意してほしい
- ③ 一部を負担するので保育園で用意してほしい
- ④ その他

A ①157、②55、③30、④4

なお、前提条件に事前に市に仙北市で主食を用意した場合いくらぐらいのコストがかかるのか？と質問させて頂いた所、市でご飯を用意した場合一人あたり年間6,360円（月530円）かかるというデータもアンケートには記載されております。

※別紙アンケート用紙参照

以上を踏まえ質問する。

- (1) 仙北市としてこども園にお子さんを預けている世帯に対して今回独自に私が行ったような主食持参に関する意向の確認は今まで取ったことはあるか？
- (2) 事前に担当課に主食持参が必要世帯分を栄養士を踏まえた一日あたりの消費量を計算し、予算を算出して頂いた所、一人あたり年間6,360円とお伺いした、これはあくまでもご飯のみで計算した金額でありここには炊飯器代、人件費、提供するための食器類、提供方法等を含めた金額は含まれてはいない。

この話題を調べ追跡すると全国的に主食持参に対する後ろ向きな回答として子供によって食べる量が違うから、手間が増えるからといった返答が予想される。それを踏まえた上で下記を提案したいがどう思うか？

- ① 炊飯器→子供が少なく一番多い角館こども園でも一升（10合）の家庭用炊飯器が2台で足りるため場所も、高額なものもいらない。持ち運びができる、管理が楽である。
  - ② 食器は今まで子どもたちが持参時に活用しているアルミの入れ物をそのまま持つていき盛り付けも自分たちで行わせることで自主性、主体性が向上すると考えられる。職員が洗うことを考えなくていいので手間もそこまで増えないという予想。※盛りつけ時間と炊飯器の縁の温度、アルミの入れ物も温かいご飯を入れた直後は高温になるので要注意。
  - ③ 子供によって食べる量が違う→そのための栄養士等が存在するし、逆に健康的と考えられる。
- (3) 結果から特に不憫を感じていないという保護者が大半であり、意外な結果でもあったがオムツ持ち帰りの件に多少通じると考える。今までそういう環境だったから知らないというだけでこの事が実現されれば働く子育て環境向上に繋がると考えられる。ご飯代だけを合計するとトータル170万円弱ということで予算的に先に質問した残業代に関する部分のテコ入れが叶えば決して不可能ではない金額だと思われるが市としてはどうか？また前向きにご検討頂きたいと考えるが具体的なスケジュール

までご回答頂けるか？

### 3 病児保育の必要性と今後の具体的な動きについて

過去にも病児保育に関する話題は現在の高橋豪県議会議員、そして、私も以前一般質問で質問した。その際に病後児保育を進めるより病児保育があった上で病後児が良いと質問したが市からの答弁は病後児から始めるという内容であった。現在病後児についても動きが不明なのとやはり病児保育から始めるべきではないか？と考える。

今回実施したアンケートの回答は以下の傾向であった。

Q 病児保育の重要性を1－2－3－4－5段階で左に行くほど強く感じる

A ①128, ②49, ③56, ④16, ⑤2

という回答で必要段階3に関しても利用したい、必要だと思う家庭があるからとプラス寄りの意見も多く見られた。病児保育に関する子育ての優位性はあるとない地域で子育て環境に関する満足度について違いがある。そして、収入減～核家族化～ストレス増といった負のスパイラルが発生している。一昔前であれば祖父母などが変わりに看るといったことも高齢化、核家族化が進み、ひとり親世代にとっては収入の大きなマイナスに繋がるストレスの元、そのストレスが家庭環境の悪化を招くといった事は以前の質問の中でも全国的に分析されているデータからも見て取れる。

財政状況が厳しいのは重々承知しているが、以前近隣の病児保育施設にヒアリングをした所、施設が2, 500万円程で用意できるといったが物価の高騰から後伸ばしにすれば更に費用は上がる。また仙北市の人口も2月に24, 000人を割ってから、4月30日時点ですでにトータルマイナス210人であり歯止めは効いていない。これをなんとかするために財政の健全化が必須であると考えるがそれと同時に子育て世代に対するバランスを考慮することも必要と考える。更に付け加えるならば、この施策は何も目新しいものではなく既に他市町村で行われているもので低いベースを普通レベルまで引き上げようというシンプルな考えである。

- (1) 病児保育を行うために市立角館総合病院と話し合い、連携することが必須と考える  
が直近で行われたことはあるか？
- (2) 田口市政に変わり2回の人事異動を終え新しい施策、幸福度を上げるために具体的な動きがしやすくなると思うがこういった施策を行うための人事異動、配置はどうか？
- (3) アンケート結果と回答率から病児保育の必要性が圧倒的に求められている事がわかるが厚労省への申請の必要性を踏まえ、どんなに早くても2年～3年は環境整備に掛かると考える。市として今後どう考えるか？

### 4 仙北市の財政状況の認知について

子育て世帯を対象としたアンケートで財政状況が厳しいことについて下記の質問と答えが下記となる。

Q 仙北市の財政状況が非常に厳しいですがそのことについてお聞かせください。

- |               |        |
|---------------|--------|
| ①全く知らない       | 回答 27  |
| ②聞いたことはある     | 回答 108 |
| ③しらない・よくわからない | 回答 28  |
| ④内容は知っている     | 回答 41  |

⑤財政破綻した場合の

デメリットも含めてよく知っている 回答 1

⑥その他 回答 1

この回答の内容から子育て世代の大半そして、今後の仙北市を支えていく世代が何となく聞いたことはあるが、実際のところはよくわからないと分析できる。市では広報、ホームページ、LINE のセグメント配信を利用した情報の共有に繋げているがこれらの認知を上げるための一番早い手立てが教育機関との連携であると考える。

- (1) 教育の中で子供議会を開催するなどの取り組みは行っているが、市の財政、財政が悪化した際のデメリット、それを踏まえた上での教育を子供たちにどれくらいの頻度で企画、実施をしているか？
- (2) 働いていて忙しい保護者にこの話題を知ってほしくても中々うまく行かないのはわかっているので意見交換会を行うタイミングを保護者会や授業参観日に設定するのがベターではないかと思うがどうか？
- (3) 今では若い世代だけでなく、高齢世代もネットをどんどん活用するようになっており私自身の SNS アカウントからも見て取れる。田口市長の動きも日々 SNS で確認させて頂いており、仙北市をなんとかするために走っている姿もわかるが You Tube チャンネルを踏まえた 5 分でも 10 分以内でももっと動画の更新をしていくべきではないかと感じる。自分の言葉で動画にわかりやすく今動いてる内容、こうしなければいけない、そのためにこういう行動をしているというのがよりコンパクトにわかりやすくすることで先程質問した教育機関と連携することも簡単でありより身近に感じやすくなると思うがどうか？

## 一般質問発言通告要旨

通告者 7番 高橋輝彦

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられてから1ヶ月が経過した。3年にわたって続いた多方面の制約がやっと解除され、仙北市も本格的に「アフターコロナ」に転換し、市民が幸福であることを強く感じられる施策を積極的に展開していかなければならないという思いを強くして以下の4つの項目について質問する。

### 1 次元の異なる少子化対策について

国は、こどもに関する政策を一元化して、迅速な対応を担う「こども家庭庁」を今年度から新設した。社会全体で妊娠期から大人になるまで継続して支援する体制を構築し、加速する少子化に歯止めをかけることを重要な任務としている。

仙北市においても、昨年度の出生数が70人という過去最低を記録し、少子化対策は最重要課題であるとの思いから以下の項目について伺う。

- (1) こども家庭庁が発足してから2ヶ月半が経過しているが、地方自治体として新設効果は感じられるのか伺いたい。また、今後も仙北市の組織は現状のままなのか伺いたい。
- (2) 国は「次元の異なる少子化対策」の柱として児童手当の拡充を予定しているが、地方自治体としても国や県の施策に追従するだけではなく、各自治体が独自の「次元の異なる少子化対策」を打ち出すべきと考えるが、仙北市での独自の施策は検討しているのか伺う。
- (3) 国が検討している施策は既婚者・子育て世帯向けが殆どであるが、加速する少子化の大きな要因として未婚の増加が挙げられる。第2次仙北市総合計画にも掲げている、独身男女の出会いや交流の場の創出を仙北市として本気で取り組むべきと考えるが、市長の見解を伺う。

### 2 市民が安心して活用できるマイナンバーカードの取り扱いについて

市政報告によると、仙北市におけるマイナンバーカードの交付状況は、4月末現在で申請率が78.95%、交付率が71.96%ということで、昨年度からの市役所全体での申請サポートの取り組みの効果により、マイナンバーカードを取得している市民が7割を超えたことになる。

6月2日にマイナンバー法が改正され、来年の秋には健康保険証が廃止となり、マイナンバーカードに一本化されることであるが、最近になって、マイナンバーカードを巡るトラブルが連日のように報道されている。すでに7割の市民が取得しているマイナンバーカードを、市民が安心して活用するためには、申請完了までのサポートだけではなく、アフターケアも大事ではないかの思いから以下の項目について確認したい。

- (1) 市政報告では、「申請完了までのサポートを行う。」とのことだが、マイナンバーカードを取得した後の市民の相談窓口はあるのか伺う。
- (2) 仙北市民のマイナンバーカードを巡るトラブルは市が把握できるのか伺う。
- (3) マイナンバーカードへの情報登録の注意点を事前にお知らせしているのか伺う。
- (4) マイナンバーカードへの登録状況を本人が確認する方法をお知らせしているのか伺う。

### 3 仙北市での新たな産業の創出について

今年の第2回臨時会において、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した3カ年事業の1年目の予算が可決され、新たな4つの事業がスタートした。今後のデジタルを活用した仙北市における課題解決や魅力向上の実現に向けた成果を大いに期待している。

仙北市は、平成27年8月に「国家戦略特区」に指定され、その中でも「地方創生特区」と「近未来技術実証特区」に指定されている。平成30年6月には「SDGs未来都市」に選定され、令和元年2月には、内閣府との「仙北市特区推進共同事務所」が開設されている。さらに、令和元年5月に「スマートシティ先行モデルプロジェクト」に選定されていることなどが、各種交付金等を活用した新たな事業が採択されている大きな要因であると感じている。

仙北市では、これまで「仙北市近未来技術実証ワンストップセンター」を開設し、地方創生推進交付金を活用した自動車の自動運転やドローンの活用、農業IOT及び水素生成等の実証実験を行ってきたが、新型コロナ感染症の感染拡大が影響したのか、成果が確認できないまま終わってしまった感があり、とても消化不良的なモヤモヤ感があることから以下の項目について確認したい。

- (1) これまで指定、設置された各種特区、内閣府との共同事務所などは現在も存続し機能しているのか確認したい。
- (2) これまで地方創生推進交付金等を活用した実証実験等により、仙北市において新たな産業の創出や地方創生等に寄与した事象は殆ど無いように感じているが、「仙北市地域新エネルギービジョン（改訂版）」に重点プロジェクトとして掲げられた、玉川温泉水を活用した水素生成による、水素エネルギーを実用化しての新たな産業の創出について、新型コロナ感染症が落ち着いてきたところで、あらためて産学官連携して本格的に取り組むことは考えていないのか伺う。

### 4 仙北市での「天皇賜杯第80回全日本軟式野球大会」の開催について

令和7年9月5日から9月10日の日程で、「天皇賜杯第80回全日本軟式野球大会」が46年ぶりに秋田県で開催されることになっている。この大会は都道府県代表等56チームが出場する軟式野球の国内最高峰の大会であり、開催会場として8球場が予定され、仙北市の落合野球場も候補地となっている。

落合野球場は、完成してから20数年が経ち、施設の劣化などが目立つようになり、これまで仙北市野球連盟から電光掲示板の設置を含めた大規模改修の強い要望が出ており、私も一般質問でこれまで4回にわたり改修事業の進捗について質問してきたが、財源が確保できずに未改修のままである。落合野球場が、この度の全日本軟式野球大会の会場候補地になっていることから、仙北市議会としても、改修整備の財源確保について要望活動を行ってきたところであるが、ウクライナ危機の影響などにより半導体の入

手が困難なことから、電光掲示板の設置は本大会には間に合わない状況となっている。しかしながら、落合野球場を開催会場にするメリットは大きいことから、あらためて以下の項目について伺う。

- (1) 全日本軟式野球連盟の落合野球場視察による、主に選手の安全面を考慮した8箇所の球場環境整備の要望に応えたうえで、開催会場として落合球場を提供していただきたいが市長の意向を伺う。
- (2) 仙北市野球連盟がこれまで要望してきた、熱中症等から子どもたちの命を守るための電光掲示板設置やフェンスラバーの張替え、バックネットの張替え、内野の排水、トイレの洋式化等の大規模改修事業については、今後も財源確保の精査を進め、事業を実施する方針を確認したいが市長の意向を伺う。

## 一般質問発言通告要旨

通告者 6番 武藤義彦

### 1 就職・雇用状況について

東京商工リサーチの調査によると、全国の企業で66・6%が正社員不足とのことである。業種別では、インバウンド需要の回復により、コロナ流行時に社員を減らした「宿泊業」やドライバー不足が常態化している「運送業者」が深刻な状況だとしている。コロナ禍では、県外就職を避け県内就職希望者が増えつつあるとの報道もあるが仙北市の現状を伺う。

- (1) コロナ前から最近までの市内の求人状況は業種別にどのように推移しているのか伺う。
- (2) 新卒者の市内就職者は増加傾向にあるのか、また、あるとすればどのような業種が増えているのか伺う。
- (3) 市内企業でも人手不足であると聞くが、その内容の把握と就職希望者が求める職種等の分析は行っているのか伺う。
- (4) 部局経営方針シートの中で、就職支援・職場定着対策事業の目標値として新規学卒者50名としているが、どのような支援・定着策を想定しているのか伺う。
- (5) 少子化が進む中で地元に残ってもらうためには地元企業との連携も不可欠である。  
また、車社会である現代では地元に居住しながら大仙市や秋田市等でも通勤可能である。近隣自治体との情報共有や、地元関係団体への要請・要望はどのような形で実施しているのか伺う。
- (6) 先日「赤十字キッズタウン」が秋田市で開催され、4歳から小学6年生まで参加し、病院での治療や災害救助の体験を通じ命の大切さに触れたとの報道があった。地元にも魅力的な職場があるということを認識してもらうためには、企業や先生方には負担となるが幼少期から体験させるのも効果的だと感じた。今年度の当初予算に「ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費」が計上されているが、具体的な取り組み内容を伺う。
- (7) 「おもてなしせんぼく」は4月より新体制で営業を始めた。3月末での退職者も何人かいたと思うが、退職者への対応として本人への連絡や説明が徹底されていないとの厳しい声があった。退職者によっては様々な雇用形態があったと思うが、保険証や退職金等については在職中に説明されるべき事案と考える。委託側である当局ではこの経緯について把握しているのか伺う。

### 2 マイナンバーカードについて

国会では健康保険証を廃止しマイナンバーカードに一本化する法案が成立した。今後、マイナ保険証を持たない人には資格確認書を発行するとしているが、有効期限が最長一年の更新制であり、申請が困難な方が無保険扱いになる可能性も危惧されている。また、カード取得は「義務ではなく申請主義」としながら、普及率を地方交付税の算定に反映

させる方針には反対する意見書を提出する市町村議会もある。カード取得によるメリットやポイント付与を前面に出して普及を進める一方で、口座の誤登録や別人の医療情報の表示等様々なトラブルが多発している。市民からはセキュリティや個人情報利用に対して不安の声も多くある。

- (1) 市のカード取得率は78.95%と高水準だが、取得者の年代別内訳を伺う。また、確認されたトラブル等はあるものか伺う。
- (2) 国では、一連のトラブルについて民間企業が自治体に提供したシステムの不具合や人為的ミスとして、責任逃れのような説明をしているが、普及を急ぐあまりの弊害だと識者からは酷評されている。そこで、誤登録等の内容は各自治体でどの程度まで確認できるのか伺う。
- (3) カード発行には職員を増員して対応しているが、カードを持たない方の中には様々な事情もあると思う。トラブルが相次いでいる中、行政はカードの有無にかかわらず的確な情報を市民に提供する説明責任があると思う。国の指示・指導待ちということではなく、市民の不安を払拭するための情報提供と、様々な相談や苦情にも対応可能な体制づくりが必要であると思うが如何か伺う。

### 3 アルパこまくさについて

先日の駒ヶ岳山開きの安全祈願祭に参加したが、平日にもかかわらず記念登山には多くの愛好者が集まった。心地よい汗を流した後の温泉が楽しみで参加したという市役所OBもおった。アルパこまくさについては昨年6月に質問されているが、その後の状況について伺う。

- (1) 営業時間を少しでも延ばせるよう職員の増員を検討しているとの答弁であったが現状を伺う。
- (2) 今年度までの収支等を分析し、令和6年度から民間事業者等の運営を考えているとのことであったが、元の第三セクターのような形態にするのか伺う。